

**CROWN
BIOSCIENCE**
Together with **MBL**

レア細胞分析

レア細胞を高感度で検出、分離、特性解析

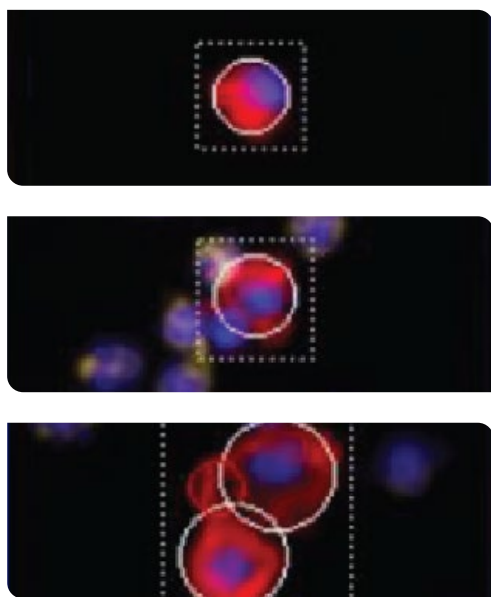
MoAを理解し、病気の進行を適切にモニタリングすることにより、より高い治療効果が得られます。従来の方法と比較して、レア細胞の検出感度や分析精度が改善しているため、非臨床試験および臨床試験のデータの信頼性も向上します。

包括的な非臨床プラットフォームの一部として、あるいはスタンドアロンサービスとして、非臨床試験のサンプルや研究用の臨床サンプルを分析します。当社のマルチパラメーターイメージングおよびその分析ツールは、最大6つのイメージングチャンネルを搭載し、以下のようなサービスを提供します：

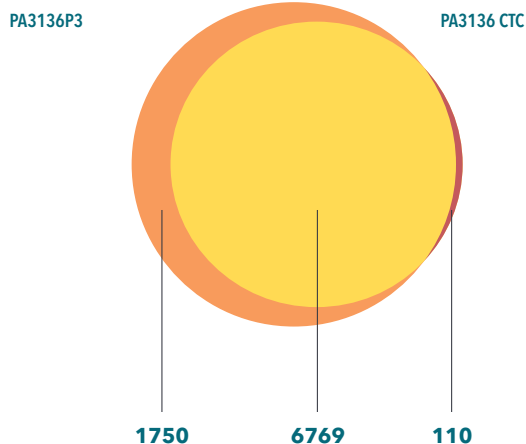
- フローサイトメトリーやリアルタイムPCRなど既存の方法と比較して、最低検出感度は90%の回収率で2細胞というレベルまで、レア細胞の定量化と可視化が改善。
- 循環腫瘍細胞(CTCs)または薬剤応答に関与するバイオマーカーを発見する細胞を定量化することにより、治療に対する予後や応答性を解析
- CAR-T細胞、TCR-T細胞、NK細胞を用いた細胞療法の持続性を正確にモニタリング
- シングルセルシーケンス解析、qRT-PCR、RNAseq、ICC、FISH、および細胞培養などにより、シングルセルや組織の微小領域を分離して特性を解析し、より詳細な生物学的データを取得
- 様々な検体種(懸濁液、血液塗抹サンプル、穿刺吸引、FFPEなど)を利用して、生存時と終末期のデータを最大限取得

肺がんPDXモデルマウスの血液サンプル中のCTC

DAPI、CD45、およびCKにより検出



シングルセルシーケンスによる遺伝子変異同定 PA3136CTCとPA3136原発腫瘍のスペクトルの重複



投与9日後のDLBCL患者中のCD19 CAR-T細胞

